



hida

広報

ひだ

町木



第15号

肥田町

郷づくり委員会

H11.11.26発行

『肥田町文化祭』

盛会裡に終わる

菊薫る、去る十月三十一日恒例の肥田町文化祭が町内各種団体の協賛を得て、肥田町公民館に於いて開催されました。

幸い天候も秋晴れに恵まれ多数の町民皆様のご来場を賜り、盛会裡に終える事が出来、深く感謝申し上げます。

今年は会場には多くの花が生けられ、会場内を華やかな雰囲気包み見学者の目を楽しませてくれました。

手入れの行き届いた盆栽や珍しい鉢植え等、各家に代々伝わる骨董品や珍しい品々等、公民館前には多数の丹精込めた菊が展示され、又、多種多様な展覧作品は何れも目を見

張る見事な出来ばえで趣味の世界とはいえず日々の努力が思い浮かべられます。

郷づくり委員会より出展頂いたアンケート調査に基づいた現況地図には見学された皆様非常に関心が深かった様に思われました。

出展者九十人、出

展作品は百七十四点

にも及び、年ごとに

盛大に成りつつある

文化祭がいつまでも

続く事を願い、来年

度も一人でも多くの

皆様にご出品頂きま

す様お願い申し上げます。

礼とさせていただきます

ます。

この文化祭に際し関係各位には準備、接待、後片付けにと二日間にあたり、ご協力頂き誠にありがとうございました。

自治会文教部長 藤野 眞理

私と菊づくり

辻野 茂

老後の楽しみの一つとして、数年前より菊作りを始めました。

菊づくりの本命は、何といつても培養土づくりです。来秋の花を見るためには、この冬期にぜひ土づくりに努めたいものです。又、肥料も出来れば市販に頼らず、自分で納得のいく乾燥肥料を作りたいものです。菊づくりの醍醐味は、土づくりから、やしない、さし芽から生育の過程など、自分で考え、手を、体を通して育ててこそ心に残る菊づくりが出来

来ることを短い期間ながら痛感しました。

さし芽から鉢上げ、定植、生育期の適期の整枝、追肥、病虫害対策など年間を通しての管理など年ごとに工夫を重ねて、自分なりに満足

のいく花を見る時、又、来年はと、新しい夢をみて今年も続けています。

町文化祭、菊花展など開かれた場での機会を得、福寿会菊クラブの応援などいただき、多くの仲間と共に、来年はよき花をめざして意欲を燃やし続けたいものです。

宇曾川クリーン活動

本年も十月十日、郷づくり委員会、自治会、各役員により宇曾川堤防のゴミ拾いを実施、本年度は県土木事務所に河川敷の草刈り事業を陳情特別に肥田町の遊歩道周辺の環境事業取組みの実績を評価して頂き河川敷の草も

なく、空缶投捨ゴミも少なく、多量の不法投棄物もなく気持ちよく奉仕作業ができました。

これから町内の方々はじめ通行される方々

来ることを短い期間ながら痛感しました。

さし芽から鉢上げ、定植、生育期の適期の整枝、追肥、病虫害対策など年間を通しての管理など年ごとに工夫を重ねて、自分なりに満足

のいく花を見る時、又、来年はと、新しい夢をみて今年も続けています。

町文化祭、菊花展など開かれた場での機会を得、福寿会菊クラブの応援などいただき、多くの仲間と共に、来年はよき花をめざして意欲を燃やし続けたいものです。

宇曾川クリーン活動

本年も十月十日、郷づくり委員会、自治会、各役員により宇曾川堤防のゴミ拾いを実施、本年度は県土木事務所に河川敷の草刈り事業を陳情特別に肥田町の遊歩道周辺の環境事業取組みの実績を評価して頂き河川敷の草も

なく、空缶投捨ゴミも少なく、多量の不法投棄物もなく気持ちよく奉仕作業ができました。

これから町内の方々はじめ通行される方々

来ることを短い期間ながら痛感しました。

さし芽から鉢上げ、定植、生育期の適期の整枝、追肥、病虫害対策など年間を通しての管理など年ごとに工夫を重ねて、自分なりに満足

のいく花を見る時、又、来年はと、新しい夢をみて今年も続けています。



一人一人が環境に目醒めて遊歩道をきれいなオアシスとして行きたいものです。

郷づくり委員会

環境事業部

自治会 環境部

『地区別懇談会終わる』

去る十一月七日午前十時二十分より肥田町公民館に於いて地区別懇談会を開催致しました。佐藤弘明先生をお迎えして、一人語り、「三吉の涙」世直 歩を演じてくださいました。続きまして「お話し」を人権尊重についてかたていただきました。

先生の一人語りには真に迫るものがあり大変感動いたしました。お話しは私達も勉強になり考えなければならぬと思いました。

当日は敬老会と重なっておりましてので大半の方は敬老会参加者でしたが最後まで熱心に受講下さいましてありがとうございました。

お誕生おめでとう

なまえ 生年月日 父の名

慎也ちゃん H11・7・17

藤野喜昌さん

ご結婚おめでとう

水村治基さん 恭子さん (平11・10・11)

水村治基さん 恭子さん (平11・10・11)



緑 風

ふるさとの想い出

第二次世界大戦の激しくなった

昭和20年の春、小学5年生の私が戦争疎開で叔父の家に預かってもらい、暫くして兄が、そして相次いで母も疎開することとなったのが故郷肥田の生活の始まりでした。この夏に終戦となり、やがて父も戻って肥田から京都へ通勤することとなり、やがと家族揃っての生活が再開しました。

戦後の食糧難も肥田に暮らす事が出来たお蔭でおいしい江州米や野菜、川魚など食べるこ

とが出来、栄養失調になるのも免れたと思っ

ています。私も宇曾川沿いの畑で慣れない野

菜づくりに励む母を助けて兄と一緒に汗を流

し、疲れながらも収穫の喜びも体験し、当時

の都会での食生活事情と較べてしみじみ幸せ

を味わった次第です。

ご近所との間では、古くからの絆で結ば

れた五人組さんとの始めての交流で冠婚葬祭

を始め夜番、吟味汁、川堀りなどと生活いろ

いろを教えて頂き、真にお互い助け合える親

しいお付き合いに包まれ、慣れない私共家族

にとって心強く感謝と故郷ならではの感動の

毎日が続きました。

季節が春となりますと家を揺るがす太

鼓の宵宮に胸を踊らせ、またお隣からいただ

くご自慢の手作りのよもぎ餅も珍しく、その

おいしさが子供心に忘れられませんでした。

夏は友達の昭ちゃん美智ちゃんと、お地蔵さ

んの裏を駆け下がり宇曾川の冷たい水の中で

犬かきやお流れの泳ぎも教わり、秋は黄金

の波をかき分けイナゴ取りに夢中にもなりま

した。この頃肥田城跡の探索も試みたもので

す。冬は、村中総出で雪解けされた学校道を

黒いマントを着て一列に、田圃一面真っ白の

雪景色を見ながら歩く風景は今も目に焼きつ

いています。霜焼けにも苦勞しました。少女時代からの懐かしい想い出の数々が目を閉じ

ますと走馬灯のように次々と浮かんできま

す。

肥田町に根づいた父は、晩年菊づくりに

精を出し、母は我流で絵筆を取る楽しみを覚

え、共に94歳の長寿を全うし幸せな生涯を送

らせていただきましたのは、五人組さんや自

治会、老人会の皆様の温かい励まし、ご支援

の御蔭と心から感謝致しております。

先般は町挙げての労作、肥田町史を拝読

しその歴史の重さに改めて感動させて頂き、

また郷づくりの歩みの広報誌にも接し、町の

皆さんが更に積極的な文化、環境、福祉の向

上に努力されている姿の伝わりをひしひしと

感じております。大切な故郷肥田町の今後

益々のご発展を心からお祈り申し上げ、つた

ない想いの筆を折らせていただきます。

彦根市中央町 近藤真左子

戦没者追悼法要

戦後54年、先の大戦で尊い命を捧げられ、今日の平和で豊かな日本の礎を築いていた

きました戦没者の御霊をお慰め申し

上げ、感謝報恩の誠を捧げるべく、

平成11年11月7日

午前9時より、興

輪寺において、遺

族の方14名（戦没

者16柱）のご臨席、

一般の参詣のなか

厳かに執り行われ

ました。



敬老会開催

平成11年11月7日

午前12時より、肥田

町公民館において70

歳以上の78名（男32

名女46名）の皆様の

長寿をお祝いし、今

後の更なるご健康を

お祈りすべく開催を

いたしました。



全員の皆様の出席

を望んでいたのです

が、残念ながら出席者59名の皆様を迎え、食

事をしながらの歓談、また余興として横田絹

枝雀社中による彦根新舞踊で楽しい一時を過

ごしていただきました。

自治会福祉部長 岩尾 義治

私と踊りとの出会い

簡井美智子

昭和58年稲枝地区公民館活動の民踊サー

クルに参加、17年の歳月が流れました。当初

は健康体操のつもりで参加しました。民踊で

は北は、「北海たらつり唄」南は「鹿児島お

はら節」私たち郷土では「淡海節」など、

様々な風土と心の出合いを楽しみながら、毎

年10月諸国民踊、お国巡りは市民会館で発表

しています。又、春は邦舞の会、夏は彦根ば

やし、多賀大社の万燈祭など、多彩な行事に

参加してき

ました。

時代の流

れと共に、

民踊も新舞

踊へと変わ

り平成7年



戸川に大量の魚浮く

九月十四日午後四

時過ぎ東町外れの戸

川に小さな魚が白い

腹を見せて大量に浮

上、早速愛知川警察

署、愛知川町役場、

彦根生活環境課に連

絡、各関係者の素早

い対応によって原因

調査をして頂きまし

たが、自治会として

は原因の究明と対策と共に、肥田町の見解と

して上流の天津井川に上流にある企業から流

れて堆積した汚泥がその日の数時間前に降っ

た夕立ちの様な大雨に掻き回されて酸素欠乏

状態になって魚が死滅、戸川まで流れて来た

のではないかと要望書を各関係機関に提出し

ました。

未だはつきりした解答は得られてません

が、この川は数年前に上流企業の油の流失に

よって肥田町は大きな被害を被り公害大騒動

のあった河川で河川の管理者である行政機関

に堆積汚泥の除去を前提に河川管理の徹底を

追及しております。



自治会・郷づくり委員会